

ります。  
 また、児童生徒が健康で安全な生活を営むためには、自らの生命を守る判断力や行動力を育成する安全指導が最も大切でありますので、生徒指導連絡協議会の定期開催による情報の共有や指導の統一を図ってまいりますとともに、学校における安全管理にも配慮し、関係機関や団体の協力のもと、交通安全および防犯意識の向上に努めてまいります。

**外国語活動の先行実施への支援**

教育基本法が改正され、小中学校は平成23年度、中学校については、平成24年度からの新学習指導要領の完全実施が義務付けられており、小学校においては5・6年生で英語を中心とした外国語活動（授業）を取り入れなければなりません。スムーズな実施に向け昨年度設置しております「小学校外国語活動推進委員会」での検討や方策の協議を基に、外国語授業の試行や外国語指導助手との交流などを進めており、聞くこと・話す



武道必修化に伴い導入される空手

ことを中心にした取り組みを各小学校で行っているところでもあり、本年も引き続き先行実施への支援を図って参ります。

**中学校に空手を導入**

また、中学校においては、武道が必修化となることから、空手を導入することにより、伝統的な考え方や、相手を尊敬することや、体力の向上などの観点から、平成22年度より先行実施することにいたしました。

**学校施設の耐震化**

学校施設の耐震化については、校舎は児童生徒が一日の大半を過ごす所でもあることや、災害発生時には緊急避難場所にもなることから、安全性の確保を図ることが緊急の課題となっております。

しかし、町内に5校あります小学校校舎につきましては、北落合小学校を除き、新耐震基準前の昭和56年以前に建設されており、計画的な耐震化を進める必要がありますが、過疎化並びに少子化により、児童数が大幅に減少してきており、町内小学校5校のうち4校が複式学級で、全校児童数が10名を下回る過小規模校であり、このような児童の教育環境について、保護者や地域の皆様との意見交換や協議の場を設け、さらに議会の皆様とも十分に協議を進めながら「これからの小学校教育の姿」について、方向性を見出す中で、小学校校舎の耐震化についても進めてまいります。



南富良野中学校クリーン作戦

**南富良野中学校校舎改築**

統合を終えております南富良野中学校につきましては、平成21年度第1次補正予算として地方への財政支援が強化された補助事業の採択が決定されましたので、平成21年度繰越事業として、校舎の改築工事を実施することとしたところであります。工事スケジュールは、平成22年2月に工着手をしており、12月末までに、完成した新校舎への引越しを予定しており、その後旧校舎の解体を平成23年2月初旬には完了させる計画であります。

**学校給食**

南富良野町学校給食センターは、富良野広域連合に移行して2年目となりますが、本年度においても、これまでと同様に本町に所在する学校給食センターとして安全で安心な学校給食を提供してまいります。

学校給食につきましては、成長期にある児童生徒の体位向上と健康増進に重要な役割を果たすことだけでなく、生涯にわたって健康な生活を送るためには、給食を通して食生活の正しい知識と食習慣を身に付けてもらい、自己の健

康管理ができる能力を育て、食の楽しさ、大切さを知る上で重要なものがあります。今後、栄養バランスを考慮した安全で好まれる給食の提供はもとより、児童生徒が一同に会しふれあう「バイキング給食」やメニューに合わせた食器の使い分け、スキー場等への直接配送、地産地消の観点から社会福祉法人南富良野大乗会で運営している「なんぶ〜香房 森のパン屋」の給食・パン使用など、これまでと同様にきめ細やかな供給を継続するとともに、新たな地元食材の供給が対象となる「学校給食地場農畜産物利用拡大事業」の活用や農作物の栽培による体験学習等で、学校における食育の推進に努めてまいります。

**南富良野高校**

給食費については、昨年度において給食費を改定させていただいておられますので、本年度は据置と致します。

南富良野高等学校については、でありますが、本校の教育目標を基本としまして、今日の



学校給食の様子（幾寅小学校）

な時代の要請や、生徒一人ひとりの個性や能力、適性を重んじた教育実践を進め、地域の特色を生かした学校づくりを努めているところであります。

学習指導としましては、従前同様習熟度別学習や進路に応じた類型学習、コンピュータによる情報教育、英語指導助手による語学学習、大学等の進学に対応するため、教科選択の幅を広げるとともに、就職の対応に商業教科を中心としたコースを教育課程に取り入れるなど、これまでどおり地域や時代の要請に対応で

きる学校づくりに努めてまいります。

特色ある学校づくりの一環として、資格取得では、生徒が簿記等の検定受験をする際の受検料や、2級訪問介護士及び2級住宅介護士の取得費を補助するとともに、通学費を助成してまいります。

国際理解教育として進めております国際交流派遣事業は、意欲ある生徒が海外での体験交流を通して語学力の向上はもとより、国際感覚を養い、精神的にも成長し、周りの生徒にも良い影響を与えていることから、本年度も継続して実施いたします。

また、本校の特色でもある、カヌー部やカーリング部など各部の活動についても引き続き支援をしていくほか、カヌー部においては全国高等学校総合体育大会や国民体育大会に毎年出場しており、本年度については冬期間の室内トレーニング用としてカヤック練習機1台を購入いたします。本年度入学されます特別支援教育が必要な生徒支援のため、教員免許を持った臨時支援員を配置し、障害の状態に応じた指導と生徒の学力向上を図ってまいります。



今後の活躍が期待される南富良野高校カーリング部

**教職員の研修活動の充実**

教職員の研修についてはありますが、児童生徒の健全な成長に際するためには、学校教育の直接の担い手である教職員の指導力に負うところが大きいものがあります。

社会のためまぐるしい変化、保護者や地域のニーズが多様化する中、教職員一人ひとりがその信頼や期待に応えるためにも、豊かな感性と幅広い教養を持ち、実践的指導力を高め、それを最大限に発揮し、連携、協働していくことが極めて重要であり、子ども達にいかにも、たくましく生きる力を育成させることができるかが問われていますので、より一層の研鑽を積まれ、教師自ら資質向上されることを期待するとともに、校内研修をはじめ、各種研修会などに積極的に参加されるよう奨励し、研修活動の充実に配慮いたします。